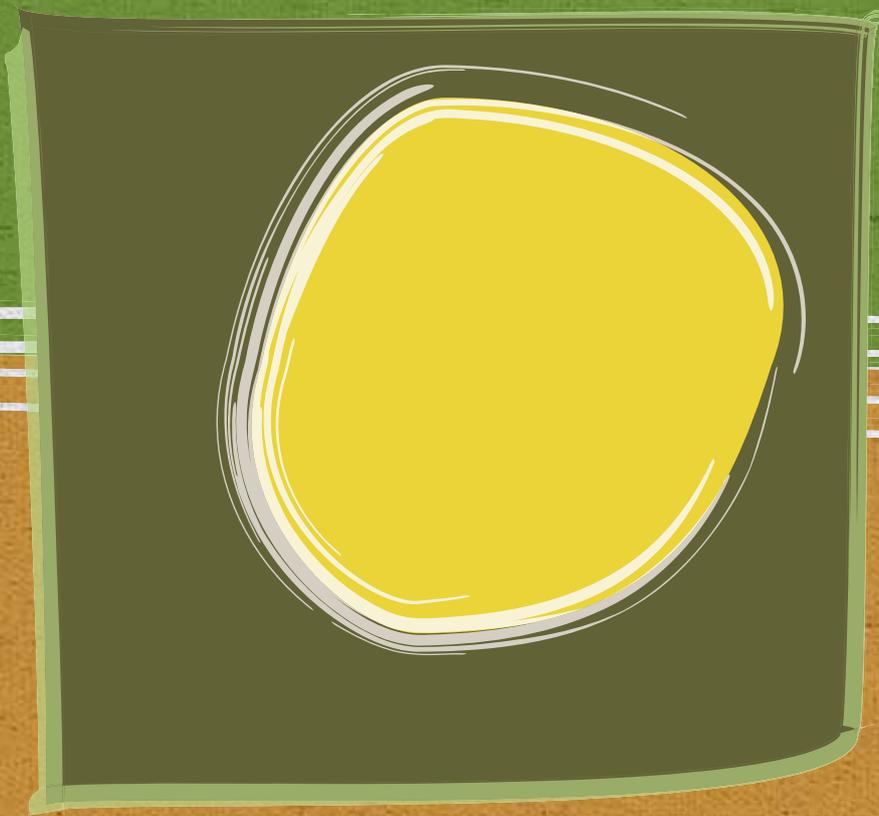


2010 Vol.604  
03

# The Record



第24回 日本ゴールドディスク大賞授賞式 開催



社団法人 日本レコード協会



## Contents

Monthly News Digest .....	1
特集	
第24回 日本ゴールドディスク大賞授賞式 開催 ....	3
2009年のレコード産業 .....	7
特報	
第2回CDショップ大賞を終えて .....	9
「守ろう大切な音楽を」キャンペーンで 受賞された生徒の皆さんから .....	10
“新たな「知的財産推進計画(仮称)」策定に関する意見書” を提出.....	11
Data File .....	12
Monthly Production Report .....	13
GOLD DISC .....	14

## 1 / 29

### 歴史的音盤アーカイブ推進協 議会 (HiRAC) 佐藤代表幹事、 「多摩アカデミックコンソー シアム」で講演

1月29日、当協会を含む音楽・映像関係6団体で構成される「歴史的音盤アーカイブ推進協会(HiRAC)」の佐藤修代表幹事(当協会顧問・(株)ポニーキャニオン取締役会長)が、東京都立川市の国立音楽大学附属図書館において開催された「多摩アカデミックコンソーシアム図書館員交流会」に招聘され、講演を行った。

同会は、多摩地区の5大学(国際基督教大学・国立音楽大学・東京経済大学・津田塾大学・武蔵野美術大学)で構成される「多摩アカデミックコンソーシアム」傘下の図書館部会における図書館員の交流会であり、学内外の有識者の講演や討論会を実施している。

今回の講演で佐藤代表幹事は、「歴史的音盤デジタルアーカイブ事業」と題して、レコード産業の歴史から、HiRACが現在進めているデジタルアーカイブ事業概要までをSP盤などの資料を交えて説明し、同事業の意義や課題などを出席者に語った。

引き続き、第2部では、評論家・音楽専門誌編集長の中村とうよう氏が武蔵野美術大学に寄贈された、ご自身のコレクションの説明を中心に講演された。



## 2 / 03

### 岡山県警察本部並びに 岡山西警察署に感謝状贈呈



2月3日、当協会は岡山県警察本部および岡山西警察署を訪問し、携帯電話向け違法配信事件の捜査に対して感謝状を贈呈した。この事件は権利者に無断で携帯電話向けの音楽ファイルを送信可能な状態にしていた(株)ウインズコミュニケーションズ他2社(※)とその代表者ら2名が、著作権隣接権侵害の容疑で逮捕されたものである。

この日、当協会法務部米内法務グループ長から岡山県警察本部生活安全部統括参事官兼生活安全企画課長の島崎警視および岡山西警察署長の岡警視正に対し感謝状を贈呈した。岡警視正および島崎警視は、このような携帯電話向け違法配信の蔓延を防ぐため、今後も取り締まりを強化していく旨を力強く表明された。

※(株)ウインズコミュニケーションズ、(株)エーアールケイ、(有)サイバートップ(いずれも岡山県岡山市)の3社

## 2 / 10

### P2Pを利用した 違法アップロード者に 懲役2年執行猶予3年の判決

2月10日、東京地方裁判所は、ファイル共有ソフトを利用して権利者に無断で音楽ファイルを送信可能な状態にしていたとして、2008年11月30日に警視庁



このエールマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す(社)日本レコード協会の登録商標です

ハイテク犯罪対策総合センターと築地署に逮捕された男性(長野県長野市在住・48歳会社員)に対し、懲役2年・執行猶予3年の判決を下した。

この男性はファイル共有ソフト「Share」を利用して権利者に無断で音楽ファイルのアップロードを行い不特定多数がダウンロードできる状態にしていた。警視庁の調べによると、この男性は「オリコン2009・ベスト50」などと題したファイルを「Share」上に公開し、平成19年4月から約13,000曲をアップロードしていた。東京地方裁判所は男性が不法に入手した音楽ファイルを常習的に違法アップロードしていた事実を認定し、今回の判決を下した。

## 2/25

### P2Pソフト「Cabos」を利用した違法アップロードで初の逮捕者

2月25日、香川県警察本部生活環境課および高松南警察署は、ファイル共有ソフトを利用して権利者に無断で音楽ファイルをアップロードしていたとして、香川県高松市在住の男性(33歳)を著作権法違反の容疑で逮捕した。

この男性は2008年12月12日から15日までの間に、自身が経営する高松市内の飲食店において、(株)デフスターレコーズが著作権隣接権を持つ音源を、ファイル共有ソフト「Cabos」を利用して権利者に無断でアップロードし、不特定多数がダウンロードできる状態にしていた。調べに対し、被疑者は容疑を認めている。

なお、ファイル共有ソフト「Cabos」を利用した著作権侵害事犯の逮捕者は国内で初めてのケースである。

※「Cabos」：中央サーバを必要とせず、各ユーザ間の通信のみでデータの送受信等を行う日本製のファイル共有ソフト。他にもGnutellaネットワークを利用したソフトに「Limewire」等がある。

## 2/26

### 海外サーバのオンラインストレージサービスを利用した音楽の違法アップロードで初の逮捕者

2月26日、北海道警察本部生活安全課および札幌中央署は、海外にサーバがあるオンラインストレージサービスを利用して権利者に無断で音楽ファイルをアップロードしていたとして、愛知県豊田市在住の男性(44歳)を著作権法違反の容疑で逮捕した。

この男性は海外にサーバがあるオンラインストレージサービスを利用して、ピクチャーエンタテインメント(株)とエイベックス・エンタテインメント(株)が著作権隣接権を持つ音源をアップロードし、アップロード先のURLを自らが開設・管理していた「曲貼り精鋭達のたまり場(<http://jetboys.alink7.uic.to/>)」という掲示板に貼付し、不特定多数がダウンロードできる状態にしていた。調べに対し、被疑者は容疑を認めている。

なお、海外サーバを利用した音楽ファイルの著作権侵害事犯の逮捕者は国内で初めてのケースである。

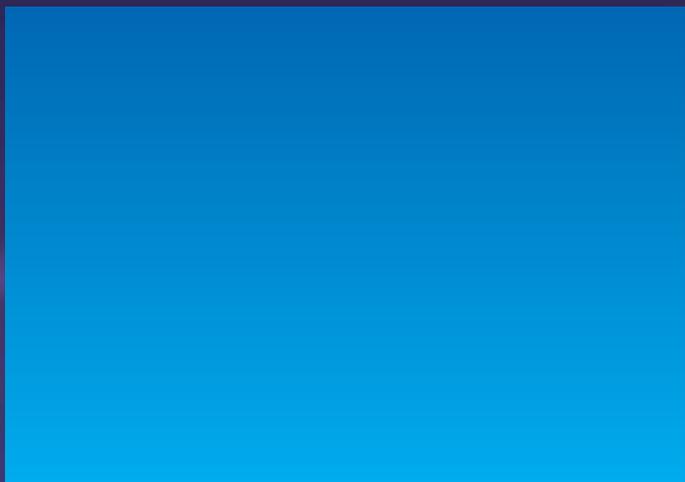
※ オンラインストレージサービス:インターネットに接続されたサーバにデジタルデータ(ファイル)を蔵置することにより、パソコン等を使って、公衆からのアクセスを可能とするサービス

#### RIAJ2010年2月度開催委員会

2/ 3	マーケティング委員会
2/ 9	法制委員会
2/ 9	レコード倫理審査会
2/10	広報委員会
2/12	情報・技術委員会
2/16	二次使用料委員会
2/19	執行委員会
2/26	理事会
2/26	予算委員会

# 第24回

# 日本ゴールドディスク大賞授賞式 開催



「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」に輝いた嵐のメンバーの中から(写真左より)大野智さん、相葉雅紀さん、松本潤さんが登場し、それぞれ受賞の喜びを語った。嵐は他にもシングル部門、アルバム部門、ビデオ部門など、計10冠を獲得した。

当協会は第24回日本ゴールドディスク大賞授賞式を、2月24日(水)11時45分より、東京都港区のコンラッド東京「風波」において開催した。

日本ゴールドディスク大賞は1年間(2009年1月1日～12月31日まで)に発売された全作品の総出荷数から返品数を差し引いた正味売上数を集計、その結果に基づき、最も支持された作品、アーティストに対して授与されるものである。

今年度の受賞作品・アーティストは、45作品・アーティストとなり、「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」の邦楽部門は嵐が、洋楽部門はザ・ビートルズが受賞した。

今回の授賞式は、新聞、テレビ、雑誌等マスメディア向けに記者発表形式で開催し、6組(計11名)のアーティストが参加し、DJの赤坂泰彦さんが司会を務めた。「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」を受賞した嵐の皆さんには、当協会石坂敬一会長よりトロフィーが贈られ、会場に駆けつけたメンバーの大野さん、相葉さん、松本さんは受賞の喜びと共にファンとスタッフに感謝の意を述べた。なお、嵐は10冠を獲得したが、これは日本ゴールドディスク大賞史上初の快挙である。



当日、授賞式に駆けつけていただいたアーティストの皆さんと司会の赤坂泰彦さん

### ● 出席アーティスト

嵐(相葉雅紀、大野智、松本潤)、  
AKB48(河西智美、北原里英、宮澤佐江)、  
JUJU、東儀秀樹、Hilcrhyme、真野恵里菜

### ● 司会

赤坂泰彦

(50音順、敬称略)



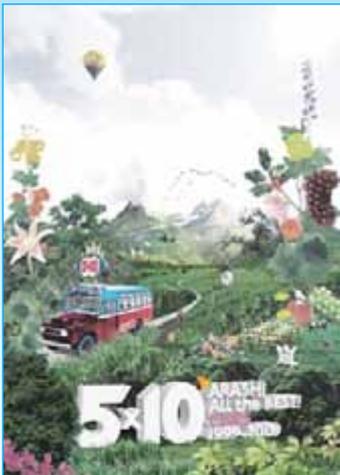
史上初となった10本のトロフィーを前に。



トロフィーは石坂会長より、大野智さんに手渡された。

アーティスト・オブ・ザ・イヤー

邦楽 嵐



シングル：2,440,515 枚  
 アルバム：1,771,369 枚/組  
 ビデオ：1,137,092 枚  
 配信：3,068,025 DL

洋楽 ザ・ビートルズ



アルバム：619,955 枚/組

※セット商品は1組としてカウント



「ザ・ベスト5ソング」を受賞した、JUJU with JAY'EDより、JUJUさんが登壇した。



「ザ・ベスト5ニュー・アーティスト(邦楽)」を受賞した真野恵里菜さん。フレッシュな笑顔で受賞の挨拶をした。



AKB48のメンバーから、(写真左より)宮澤佐江さん、北原里英さん、河西智美さんが登壇した。「特別賞」受賞の喜びと、ファンへの感謝の気持ちを伝えた。



8回目の受賞となり、すっかりGD大賞の常連となった東儀秀樹さん。「純邦楽・アルバム・オブ・ザ・イヤー」を受賞した。



「ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」を受賞したHilcrhymeのお二人。受賞の喜びとともに、「次の丘を登っていきたい」と、今後の意欲を述べた。

## 第24回 日本ゴールドディスク大賞受賞一覧

※ 同一賞内のアーティスト名は五十音順

### アーティスト・オブ・ザ・イヤー

期間中に発売された作品・楽曲の正味売上金額合計が最も多いアーティスト

	アーティスト	レコード会社
邦楽	嵐	ジェイ・ストーム
洋楽	ザ・ビートルズ	EMIミュージック・ジャパン

### ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー

ニュー・アーティスト賞受賞者の内、作品・楽曲の正味売上金額の合計が最も多いアーティスト

	アーティスト	レコード会社
邦楽	Hilcrhyme	ユニバーサル ミュージック
洋楽	レディー・ガガ	ユニバーサル ミュージック

### ザ・ベスト5ニュー・アーティスト

期間中にデビューした邦楽アーティストで、作品・楽曲の正味売上金額合計の上位5組

	アーティスト	レコード会社
邦楽	JASMINE	ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ
	supercell	ソニー・ミュージックレコーズ、ソニー・ミュージックダイレクト
	BIGBANG	ユニバーサル ミュージック
	Hilcrhyme	ユニバーサル ミュージック
	真野恵里菜	アップフロントワークス

### ザ・ベスト3ニュー・アーティスト

期間中にデビューした洋楽アーティストで、作品・楽曲の正味売上金額合計の上位3組

	アーティスト	レコード会社
洋楽	ケリー・ヒルソン	ユニバーサル ミュージック
	スーザン・ボイル	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル
	レディー・ガガ	ユニバーサル ミュージック

### ザ・ベスト・演歌/歌謡曲・アーティスト

同ジャンル該当アーティストの内、期間中に発売された作品・楽曲の正味売上金額合計が最も多いアーティスト

	アーティスト	レコード会社
	氷川きよし	コロムビアミュージックエンタテインメント

### ソング・オブ・ザ・イヤー

原則として期間中に発売されたシングルと期間中に配信が開始された有料ダウンロード数の合計が最も多い作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
邦楽	遙か	GReeeeN	ユニバーサル ミュージック
洋楽	ストレート・スルー・マイ・ハート	バックストリート・ボーイズ	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

### ザ・ベスト5ソング

原則として期間中に発売されたシングルと期間中に配信が開始された有料ダウンロード数合計の上位5作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
邦楽	THE GENERATION ～ふたつの唇～	EXILE	エイベックス・マーケティング
	遙か	GReeeeN	ユニバーサル ミュージック
	明日がくるなら	JUJU with JAY'ED	ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ
	イチブトゼンブ	B'z	ビーイング
	ひまわり	遊助	ソニー・ミュージックレコーズ

### シングル・オブ・ザ・イヤー

原則として期間中に発売されたシングルで最も正味売上枚数が多い作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
邦楽	Believe/曇りのち、快晴	嵐	ジェイ・ストーム
洋楽	SAHARA～feat.稲葉 浩志	スラッシュ	ユニバーサル ミュージック

### ザ・ベスト5シングル

原則として期間中に発売されたシングルで作品の正味売上枚数上位5作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
邦楽	明日の記憶/Crazy Moon～キミ・ハ・ムテキ～	嵐	ジェイ・ストーム
	Everything	嵐	ジェイ・ストーム
	Believe/曇りのち、快晴	嵐	ジェイ・ストーム
	マイガール	嵐	ジェイ・ストーム
	RESCUE	KAT-TUN	ジェイ・ストーム

**アルバム・オブ・ザ・イヤー** 原則として期間中に発売されたアルバムで最も正味売上枚(組)数が多い作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
邦楽	All the BEST! 1999-2009	嵐	ジェイ・ストーム
洋楽	マイケル・ジャクソン THIS IS IT	マイケル・ジャクソン	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

**ザ・ベスト5アルバム** 原則として期間中に発売されたアルバム正味売上枚(組)数上位5作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
	ayaka's History 2006-2009	絢香	ワーナーミュージック・ジャパン
	All the BEST! 1999-2009	嵐	ジェイ・ストーム
	愛すべき未来へ	EXILE	エイベックス・マーケティング
	いままでのA面、B面ですと!?	GReeeeN	ユニバーサル ミュージック
	塩、コショウ	GReeeeN	ユニバーサル ミュージック

**クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー** 原則として期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
	アマルフィ〜サラ・ブライトマン・ラヴ・ソングス〜	サラ・ブライトマン	EMIミュージック・ジャパン

**ジャズ・アルバム・オブ・ザ・イヤー** 原則として期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
	ザ・フォール	ノラ・ジョーンズ	EMIミュージック・ジャパン

**インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤー** 原則として期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
	My Favorite Songs	葉加瀬太郎	ハッツ・アンリミテッド

**サウンドトラック・アルバム・オブ・ザ・イヤー** 原則として期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
	のだめカンタービレ 最終楽章	のだめカンタービレ	エピックレコードジャパン

**アニメーション・アルバム・オブ・ザ・イヤー** 原則として期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
	銀魂BEST	銀魂	アニプレックス

**純邦楽・アルバム・オブ・ザ・イヤー** 原則として期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
	地球よ、	東儀秀樹	ユニバーサル ミュージック

**企画・アルバム・オブ・ザ・イヤー** 原則として期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品

	作品名	アーティスト	レコード会社
	つるのうた	つるの剛士	ポニーキャニオン

**ザ・ベスト・ミュージック・ビデオ** 原則として期間中に発売された邦楽ビデオで、正味売上枚(組)数上位3作品(洋楽ビデオは正味売上枚(組)数が最も多い作品)

	作品名	アーティスト	レコード会社
邦楽	ARASHI AROUND ASIA 2008 in TOKYO	嵐	ジェイ・ストーム
	5×10 All the BEST! CLIPS 1999-2009	嵐	ジェイ・ストーム
	EXILE LIVE TOUR "EXILE PERFECT LIVE 2008"	EXILE	エイベックス・マーケティング
洋楽	All About 東方神起 season 3	東方神起	エイベックス・マーケティング

**特別賞**

	アーティスト	レコード会社
	AKB48	キングレコード
	けいおん!	ポニーキャニオン

# 2009年のレコード産業

## ● 2009年のレコード産業の概要

2009年の音楽ソフト(オーディオレコード+音楽ビデオ)総生産額は、前年比87%の3,165億円となり、依然厳しい状況が続いている。内訳を見ると、オーディオレコードが数量で前年比87%の2億1,433万枚、金額では前年比84%で2,496億円、音楽ビデオは数量で前年比106%の5,916万枚/巻、金額では102%の669億円となっており、音楽ビデオは6年連続前年を上回っている。

音楽ソフトにおける邦楽・洋楽の比率では、邦楽が前年比87%、洋楽が91%となり、邦洋の構成比は、80対20(前年80対20)であった。

一方、有料音楽配信は、前年の905億円から910億円(前年比100%)と推移した。内訳を見ると、インターネット・ダウンロードがオーディオ、音楽ビデオとも二桁の伸び率となり前年比113%の102億円となった。モバイルは、Ringtones(着うた®)の減少が影響して全体で前年比99%の793億円となった。モバイルにおけるシングルトラック(着うたフル®)は494億円(前年比104%)と、モバイル全体の62%、有料音楽配信全体の54%を占めるまで成長している。日本の配信マーケットの特徴であるモバイルの圧倒的優位は変わっていないが、インターネットとモバイルダウンロードの金額による構成比は、2007年8対92、2008年10対90から2009年は11対89と、インターネット・ダウンロードが全体に占める割合が1割を超えるようになった。

なお、音楽ソフトの生産実績と音楽配信の合計は4,075億円、前年比90%となった。市場は厳しい状況が続いているが、音楽ビデオはパッケージ、配信ともプラス成長が続いている。また、配信では主力であるモバイルのシングルトラック(着うたフル®)は堅調を維持しており、インターネット・ダウンロード、Ringbacktones(待ちうた等)は今後も成長が期待できる。

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標。

## 2009年音楽ソフト総生産

(数量：千枚・巻/金額：百万円)

		数量	前年比	金額	前年比	
オーディオレコード	8cmCD	邦	152	76%	57	55%
		洋	3	8%	1	16%
		計	155	65%	58	54%
	12cmCD	邦	44,222	83%	33,621	85%
		洋	519	113%	378	175%
		計	44,742	84%	33,999	85%
	計	邦	44,375	83%	33,678	85%
		洋	522	105%	379	172%
		計	44,897	84%	34,057	85%
	12cmCDアルバム	邦	118,094	88%	156,632	84%
		洋	47,068	85%	55,282	86%
		計	165,162	88%	211,914	84%
	CD計	邦	162,468	87%	190,310	84%
		洋	47,591	86%	55,661	87%
		計	210,059	87%	245,971	84%
アナログディスク	邦	54	36%	105	45%	
	洋	49	80%	85	72%	
	計	102	48%	190	54%	
カセットテープ	邦	3,774	82%	2,942	79%	
	洋	3	38%	1	29%	
	計	3,777	82%	2,943	79%	
その他	邦	221	83%	246	55%	
	洋	170	73%	281	82%	
	計	391	78%	527	67%	
合計	邦	166,517	87%	193,604	84%	
	洋	47,811	86%	56,028	87%	
	計	214,328	87%	249,632	84%	
音楽ビデオ	DVD	邦	52,817	103%	57,448	97%
		洋	5,926	143%	8,297	136%
		計	58,743	106%	65,745	101%
	テープ・LD・その他	420	154%	1,138	267%	
	合計	邦	53,191	103%	58,452	98%
洋	5,973	143%	8,432	138%		
計	59,164	106%	66,883	102%		
音楽ソフト計 (オーディオ/音楽ビデオ)	邦	219,708	90%	252,055	87%	
	洋	53,785	90%	64,460	91%	
	計	273,492	90%	316,515	87%	
ビデオ (含音楽ビデオ)	DVD	105,036	110%	176,806	103%	
	テープ・LD・その他	2,969	460%	10,957	593%	
	合計	108,005	113%	187,763	109%	
オーディオ/ビデオ合計		322,333	94%	437,394	93%	

備考：1. 本年実績は、会員会社「59社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
3. オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

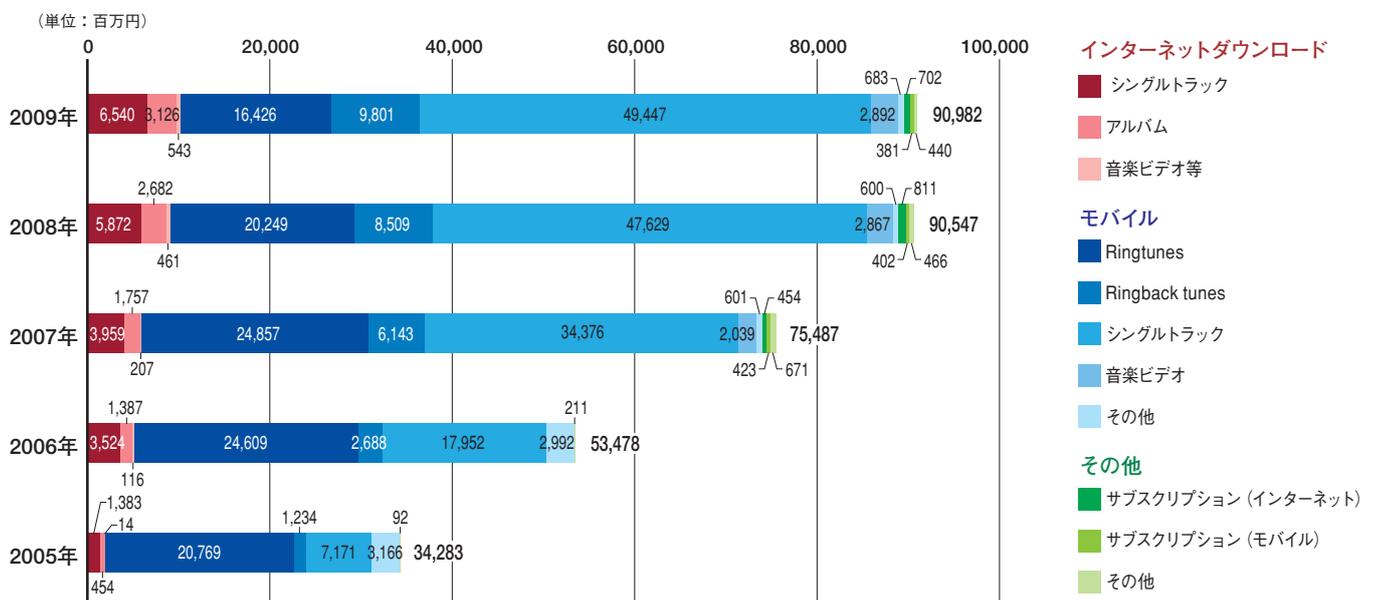
## 2009年有料音楽配信売上実績

(数量:千回/金額:百万円)

	形態	2009年1月～2009年12月 累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
インターネットダウンロード	シングルトラック	42,511	112%	6,540	111%
	アルバム	2,555	117%	3,126	117%
	小計 (オーディオダウンロード分)	45,066	112%	9,665	113%
	音楽ビデオ	1,748	111%	543	118%
	その他	0	—	0	—
	合計	46,813	112%	10,209	113%
モバイル	Ringtunes	157,081	86%	16,426	81%
	Ringback tunes	112,021	111%	9,801	115%
	シングルトラック	142,896	100%	49,447	104%
	音楽ビデオ	7,976	82%	2,892	101%
	その他	1,376	76%	683	114%
	合計	421,349	96%	79,250	99%
その他	サブスクリプション (インターネット)	—	—	702	87%
	サブスクリプション (モバイル)	—	—	381	95%
	その他 (その他のデジタル音楽コンテンツ)	60	174%	440	94%
	合計	60	174%	1,523	91%
総合計		468,223	98%	90,982	100%

注：数量…ダウンロード回数

## ● 有料音楽配信売上金額の推移



備考:「音楽ビデオ」は2007年1月より項目として独立。2006年以前は「その他」内に含まれる。

特報 Special Report

## 第2回CDショップ大賞を終えて



先月号で紹介した通り、全日本CDショップ店員組合のCDショップ大賞実行委員会は1月21日に「第2回CDショップ大賞」授賞式を開催し、授賞作品を表彰した。第2回目となり、さらに盛り上がりを見せたCDショップ大賞であるが、ここでは、運営に携わった実行委員の感想、本賞に対する想いを紹介する。

### ■ HMVジャパン株式会社 商品本部 横尾健介氏

全国のショップ店員さんの反応も非常に良く、CDショップ大賞が、店頭に浸透してきたということを感じることの出来た2回目でした。

ただ、まだまだ生まれたばかりの賞で、やるべきことはたくさんあります。

全国のCDショップ店員さんが、自信を持ってユーザーの方々にお勧めできる音楽を届けていくことが「CDショップ大賞」の意義だと考えているので、今後も出来るだけ多くのショップ店員さんの意見をより反映出来る体制を作り、またその賞をユーザーの方々にも認知してもらえ活動強化していきたいと考えています！

### ■ WAVE 河野至孝氏

一番重要なのは、この賞や組織運営を店頭での販売機会に繋げていただくこと。投票は二の次でイイので、ユーザーと業界と自店のために利用し倒してください。

第二回は発表時期の繰上で準備期間がタイトな割には、新設された地方賞が予想以上に盛り上がったので、一年みっちり準備できる次回が今から楽しみです。まずは直近での店頭展開のテンションを通年で保つギミックの協議に入ります。

個人的には、不況にも強いアニメやアイドルといったコアなジャンルを得意とするショップやスタッフの方々にこそぜひ参画していただき、ノミネートの分母を上げられたらと思います。

### ■ フタバ図書サウンドGIGA天神 店長 大畑 亨氏

現代において僕らの業界は悲壮感を持って語られますが、オーディオビジネスは(ビジュアルを除く)2009年でも光GENJIが年間チャート上位3位を独占した1988年の市況よりは【売れてたりする】のです。90年代以降のミリオンブーム(バブル)によってこのビジネスに携わる人が増え、人口密度が高くなりすぎたこの業界が淘汰される時期が来ただけ、と見ています。これから僕らの【専門職】としての仕事っぷりが試されるのだと思います。

CDショップ大賞はそんな僕らを大きくモチベートしてくれる場であり、その使命感ともいえるものが今後のシーンに与える影響は大きくなっていく、とヒシヒシと感じています。各法人・各店が足並みを揃えるのは難しい、と言われていましたが今回『地方賞』が制定されたことによって『自分たちの手で自分たちの街からヒットを生む』という、あるべき(やるべき)姿が構築されようとしています。継続は力なり、を体現することこそが今後のシーン活性にいちばん重要なことであり、それぞれCDショップ大賞が掲げ続けるべきテーマだと思っています。

授賞式終了後、各地のCDショップでは、授賞作品を紹介する特設コーナーが設けられた。スタッフは、「ショップ店員が選んだ賞としてお客さんの注目度も高い。また、旧譜を販売するきっかけとして大変有効的である」と話す。



タワーレコード渋谷店1F

また、CDショップ大賞について、当協会マーケティング委員会CDショップ大賞WT 坪井俊明 座長にお話を伺った。



マーケティング委員会 CDショップ大賞WT座長  
株式会社EMIミュージック・ジャパン 執行役員 ミュージックサービス本部 本部長  
坪井俊明氏

日本レコード協会のマーケティング委員会では、今年度「CDショップ大賞」のさらなる後方支援のために専門WTが発足し、私が座長を務めさせていただいています。

昨秋、その一環で私自身一度実行委員会にお邪魔させていただきました。お仕事を終えてから、手弁当・無報酬で集まっているショップの方々の「良い音楽・埋もれている音楽を店頭から伝えたい」という熱い想いに接し、頭が下がるとともに、我々もできることがあればという思いを強くしました。

その熱意により、前回の倍以上の方の投票が集まり、授賞式も手作りで前回以上に盛り上がりを見せました。そして、受賞後多くの店舗で大々的な展開を見るにつけ、パッケージを売るためにはお店の皆様のパワーや協力が必要不可欠であるということに再認識しています。

やはり「この賞がきっかけ」というヒットが出てこそ、賞への注目度も高まるでしょうし、真の需要拡大にもつながると考えています。

最後にメーカーの立場でお願いさせていただきたいのは、縁があって選ばれた入賞アーティストを継続応援していただきたいということです。関係者の皆様、お疲れ様でした。

# 「守ろう大切な音楽を♪」キャンペーンで受賞された生徒の皆さんから

先月号で紹介した「守ろう大切な音楽を♪」キャンペーンの受賞者および担当の先生より、お便りが寄せられた。その喜びのコメントを紹介する。

## 標語部門

★**グランプリ** 愛知県岡崎市立竜南中学校卓球部

「守ろうよ みんなの宝 音楽を」

違法ダウンロードについて興味をもち、インターネット等で調べているときに日本レコード協会のホームページをみつけ、これは違法ダウンロードをなくすために私達でも協力できることだと思い、応募しました。私達の標語を見て、少しでも違法ダウンロードする人が減ってほしいと思います。

今回のキャンペーンを通じて著作権を守ることがいかに大変で、大切か、生徒と共に考えることができました。日本レコード協会と応募してくれた生徒達に感謝の気持ちでいっぱいです。(松永美穂先生)

★**準グランプリ** 東京都立板橋有徳高校パソコン部

「好きな曲、それはほんとうに買った曲？」

このような賞をもらえたのは初めてのことで、とても嬉しく、光栄に思っています。この標語は、音楽を聴いている人々に聞きたいことをそのまま表現しました。そういった考えを汲み取っていただいて、嬉しく思っています。また、違法ダウンロードをしていぼっている人々がなくなり、みんなが曲を買ってくれればいいと改めて考えました。

今回の標語については、部員それぞれが最低限1つの標語を考え、その中から話しあい1つに絞って決めようです。話しあいも生徒のみで行い、最初から最後まで自分たちで考えて応募した結果ですので、日頃はおとなしい部員たちの心の中に、自信が芽生えたようにみえます。このような機会をいただき、感謝しております。(黒田英子先生)

## キャラクター部門



★**グランプリ** 香川県立高松工芸高等学校デザイン科1年

私は「やめよう違法ダウンロード」のキャラクターを考えることで、同時に音楽を利用するためのルールやマナーなど多くのことを学ぶことができました。私は違法ダウンロードをしてはいけないと思うより、みんなで音楽を守りたいと思う方が良かったので、「守りタイ」をつくりました。違法ダウンロードが少しでも減れば良いな、と思います。

本校では以前より、デザインの学習とともに産業財産権や工業所有権について学習する機会を設けてきました。また、日頃から工業高校生として、コンピュータやインターネットを使用する際の倫理観などについても指導してきました。今回の違法ダウンロードについての取り組みで、ディスカッションしながらマークやポスターを制作することで、より身近な内容から著作権等について学習することができました。今後も、デザインについて学びながら、音楽を大切にしていける心をもつ学習を続けていきたいと思っています。(濱野卓也先生)

(なお、今回の受賞に対し、香川県教育長から表彰を受けるという素晴らしい報告をいただいている)



★**準グランプリ** 大阪商業大学高等学校デザイン美術コース3年8組

自分も何度か違法ダウンロードしてしまったことがあり、これからはしてはいけないという想いから、このキャラクターが生まれました。制作を通じ、普段何気なく「無料で普通」と思っていた音楽について、改めて考えることができました。たくさんさんの音楽が違法にダウンロードされていることを知り、もっと音楽を大切にしてほしいという願いを込めて制作に取り組みました。この作品が、違法を少しでもなくすのに役に立てばと思います。

生徒たちは勿論、大人ですら違法ダウンロードに対する罪の意識は低いと思います。しかし、そのような意識を改革する上で今回の様な参加型のキャンペーンは効果的であり、芸能人やアーティストがTVなどで広報アピールした点や、受賞作品や審査風景などがTVで放映されたことに生徒たちは敏感でした。倫理観の形成に、芸能人やアーティストの真摯な姿勢が生徒たちに大変影響があると、今回このキャンペーンに取り組んで一番感じたことでした。(久語民雄先生)

## ポスター部門



★**準グランプリ** 和歌山県立古佐田丘中学校美術部

中学校最後の部活での思い出づくりにと、ポスターの制作に取り組みました。3年生全員で楽しみながら取り組むことができ、更に受賞することができて、とてもうれしく思っています。

生徒たちが楽曲の著作権について目を向け、考える機会になったことに感謝しております。生徒たちの思いが広がり、違法ダウンロードがなくなることを祈念しております。(川原一真先生)

# “新たな「知的財産推進計画（仮称）」策定に関する意見書”を提出

知的財産戦略本部によって実施された、“新たな「知的財産推進計画（仮称）」の策定に向けた意見募集”に対し、平成22年2月15日、当協会から意見書を提出したので、以下にその概要を紹介する。

## 1 ■ インターネット上の著作権侵害対策の強化

### (1) 著作権侵害を防止する技術的対策の推進

技術的対策の検討を推進する関係者の取り組みを支援し、実効性のある対策に必要な制度上の措置を講じるべきである。

### (2) 一定のインターネット・サービス・プロバイダ(ISP)に対する著作権侵害防止義務の導入

一定のISPに対し、著作権侵害行為を防止する措置を講じることが義務付け、この義務の履行を「プロバイダ責任制限法」による免責を受ける要件とするよう制度の見直しを行うべきである。

### (3) 「プロバイダ責任制限法」に定める発信者情報開示請求手続きの改善

次の2点について、発信者情報開示請求手続きの簡素化を図るべきである。

- ① 発信者情報の開示請求に対するISPの回答期限を法定（請求から6週間以内）。
- ② 発信者情報の開示に応じない場合のプロバイダ責任（免責条件）を見直し、現行の「故意・重過失がない」から「故意・過失がない」に変更する。

### (4) 適法配信識別マークの普及支援

「エルマーク®」の、ユーザーへの更なる周知と普及に必要な支援をすべきである。

### (5) 法定賠償制度の創設

被害者が権利侵害の事実を立証した場合には、具体的損害額を立証しなくても、一定の法定額を損害賠償額として請求することができる制度（法定賠償制度）を創設すべきである。

### (6) 侵害コンテンツへ誘導するリンクサイトへの対応強化

侵害コンテンツへ誘導するリンク情報等の提供行為を差止請求の対象になることとし、このようなサービスを提供するISPは権利者からの削除要請に応じる義務があることを明確化すべきである。

### (7) 悪質行為者に対するアカウント停止措置等の制度化

既に同様の制度を導入したフランス、韓国、台湾などを参考に、日本においても実効性の高い制度を導入するために、早急に法制化を検討すべきである。

## 2 ■ 「クリエイターのコンテンツ制作支援」および「ユーザーにコンテンツを伝達する者に対する適切な利益還元」

### (1) 私的録音録画補償金制度の見直し

技術の発達等による私的録音録画実態の変化にあわせて私的録音録画補償金制度が見直されていないため、権利者の経済的な不利益が拡大している。私的録音録画の実態にあわせて速やかな制度の見直しが必要である。

### (2) レコード放送権の創設

商業用レコードを用いた「専ら音楽の提供を目的とする放送または有線放送」に対し、レコード製作者が合理的な条件を付すことができるようレコード製作者の権利を報酬請求権（二次使用料請求権）から許諾権（レコード放送権）に変更すべきである。

### (3) 商業用レコードの業務上の利用からレコード製作者へ適正な対価が還元される制度の創設

公衆に聴かせるための商業用レコードの利用については、既に世界124カ国（OECD加盟30カ国中27カ国）において、レコード製作者・実演家に報酬請求権ないし許諾権が付与され適正な対価が還元されている。わが国においても、権利保護の国際的調和を図るべきである。

### (4) レコード保護期間の延長

国際的には、既に30カ国が50年を超えるレコードの保護期間を採用しており、わが国も、映画の著作物の保護期間（公表後70年）やアメリカにおけるレコードの保護期間（発行後95年）などを参考にしながら、レコードの保護期間を延長すべきである。

## 3 ■ 著作権教育の一層の充実

若年層に対し著作権についての基本的な教育を行うことにより、著作権の尊重と規範遵守意識の向上を促し、正規コンテンツの利用へと誘導するために効果的な啓発活動を実施することが極めて重要である。

関係省庁は、若年層への著作権教育の充実に一層取り組むべきである。

## 4 ■ 日本音楽コンテンツの海外向けライセンスアウト促進

### (1) Co-Festa～TAMの継続・発展

音楽業界では、次年度以降のTAMにおいても更なる実ビジネスの成果を挙げるべく活動しており、これを継続・発展させるため、引き続きTAMへの支援を求める。

### (2) 政府および在外公館による支援強化

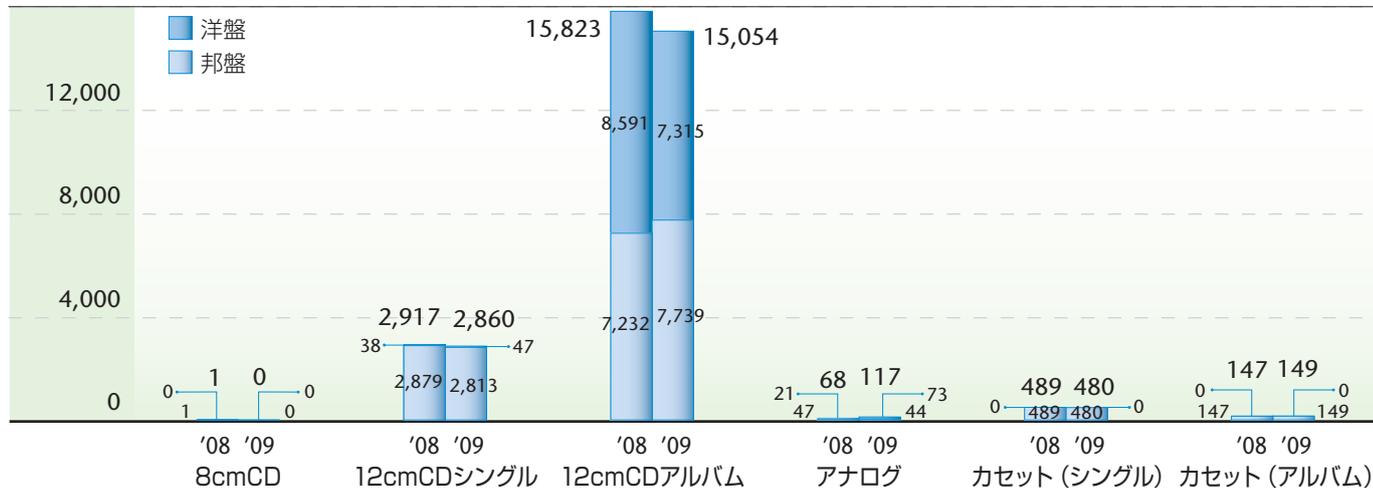
各国の日本大使館内に広報文化部があり文化担当者が配置されているが、他国と比べると、機能・活動に大きな違いがある。省庁を横断した司令塔機関の創設が望まれる。

## 2009年1月～12月新譜タイトル数

2009年(平成21年)の1月から12月に発売された新譜タイトル数がまとめられました。オーディオレコードは前年比96%の18,660タイトルとなりました。

### ● オーディオレコード新譜数

単位：タイトル



### ● オーディオレコードジャンル別新譜数

単位：タイトル

ジャンル	8cmCD	12cmCD			アナログ	カセット		合計	
		シングル	アルバム	計		シングル	アルバム		
邦盤	演歌	0	505	464	969	1	425	132	1,527
	ポップス・歌謡曲	0	1,100	1,840	2,940	3	29	12	2,984
	ニューミュージック	0	773	3,041	3,814	39	1	1	3,855
	小計	0	2,378	5,345	7,723	43	455	145	8,366
	軽音楽	0	13	384	397	0	0	0	397
	民謡・純邦楽	0	24	197	221	0	18	3	242
	教育・教材・童謡・童話	0	2	169	171	0	1	1	173
	アニメーション	0	301	520	821	0	0	0	821
	クラシック	0	2	314	316	1	6	0	323
	カラオケ	0	0	10	10	0	0	0	10
その他	0	93	800	893	0	0	0	893	
邦盤計	0 (-)	2,813 (98%)	7,739 (107%)	10,552 (104%)	44 (94%)	480 (98%)	149 (101%)	11,225 (104%)	
洋盤	ロック・ディスコ	0	15	3,218	3,233	0	0	0	3,233
	ジャズ・フュージョン	0	0	1,425	1,425	53	0	0	1,478
	ポピュラーソング	0	2	706	708	0	0	0	708
	映画音楽	0	2	209	211	0	0	0	211
	その他	0	0	129	129	0	0	0	129
	小計	0	19	5,687	5,706	53	0	0	5,759
	クラシック	0	28	1,621	1,649	20	0	0	1,669
その他	0	0	7	7	0	0	0	7	
洋盤計	0 (-)	47 (124%)	7,315 (85%)	7,362 (85%)	73 (348%)	0 (-)	0 (-)	7,435 (86%)	
合計	0 (0%)	2,860 (98%)	15,054 (95%)	17,914 (96%)	117 (172%)	480 (98%)	149 (101%)	18,660 (96%)	

( ) 内は対前年比

### ● ビデオジャンル別新譜数

単位：タイトル

ジャンル	ディスク	テープ	合計		
				DVD	LDその他
音楽	邦楽	777	44	15	836
	洋楽	578	4	0	582
	カラオケ	185	0	0	185
合計	1,540	48	15	1,603	
	(88%)	(160%)	(150%)	(90%)	

( ) 内は対前年比

# Monthly Production Report

## 2010年1月度レコード生産実績

1月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比94%の1,790万枚・巻、金額で同89%の184億円となりました。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比94%の1,426万枚・巻、金額で同88%の149億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比92%の364万枚・巻、金額で同91%の34億円となっています。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		1月実績						
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	
シ	8cmCD	邦	4	0	66%	2	0	73%
		洋	0	0	-	0	0	-
		計	4	0	67%	3	0	75%
ン	12cmCD	邦	2,943	21	96%	2,184	15	95%
		洋	13	0	143%	11	0	165%
		計	2,956	21	97%	2,195	15	95%
ル	小計	邦	2,947	21	96%	2,187	15	95%
		洋	13	0	144%	11	0	166%
		計	2,960	21	96%	2,198	15	95%
12cmCD アルバム	邦	8,420	59	102%	9,823	66	92%	
	洋	2,612	18	84%	2,668	18	75%	
	計	11,032	77	97%	12,491	84	88%	
CD 合計	邦	11,367	80	100%	12,010	80	93%	
	洋	2,625	18	84%	2,679	18	75%	
	計	13,992	98	97%	14,689	98	89%	
アナログ ディスク	邦	10	0	244%	16	0	285%	
	洋	2	0	85%	3	0	78%	
	計	12	0	190%	19	0	200%	
カセット テープ	邦	234	2	38%	199	1	57%	
	洋	0	0	-	0	0	-	
	計	234	2	38%	199	1	57%	
その他	邦	9	0	94%	13	0	94%	
	洋	11	0	48%	14	0	23%	
	計	20	0	62%	27	0	35%	
合 計	邦	11,620	81	97%	12,237	82	92%	
	洋	2,638	19	84%	2,696	18	74%	
	計	14,258	100	94%	14,934	100	88%	

### ● 音楽ビデオ

		1月実績					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD	邦	3,320	91	90%	3,072	89	89%
	洋	293	8	104%	275	8	84%
	計	3,613	99	91%	3,347	97	89%
テープ・LDその他		28	1	267%	90	3	350%
合 計	邦	3,342	92	91%	3,144	91	91%
	洋	299	8	106%	293	9	89%
	計	3,641	100	92%	3,437	100	91%

### ● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

		1月実績					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ		14,258	80	94%	14,934	81	88%
音楽ビデオ		3,641	20	92%	3,437	19	91%
合 計		17,899	100	94%	18,371	100	89%

### ● ビデオ(含音楽ビデオ)

		1月実績					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD		6,606	95	99%	10,532	89	98%
テープ・LDその他		376	5	470%	1,320	11	374%
合 計		6,982	100	103%	11,852	100	107%

### ● オーディオ/ビデオ合計

		1月実績					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ		14,258	67	94%	14,934	56	88%
ビデオ		6,982	33	103%	11,852	44	107%
合 計		21,241	100	97%	26,786	100	96%

備考 1. 上記実績は、会員会社[59社]の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

## 音楽ソフト

### 邦楽

#### アルバム

##### ●ダブル・プラチナ

ハジマリノウタ	いきものがかり	2009.12.23	ES
---------	---------	------------	----

##### ●プラチナ

HOCUS POCUS	木村カエラ	2009.06.24	C
-------------	-------	------------	---

##### ●ゴールド

NEXT FUTURE J album リサイタル What's flumpool !? Noriyuki Makihara 20th Anniversary Best LIFE Noriyuki Makihara 20th Anniversary Best LOVE Olympos	GIRL NEXT DOOR KinKi Kids ヒルクライム flumpool 横原敬之 横原敬之 LANDS	2010.01.20 2009.12.09 2010.01.13 2009.12.23 2010.01.01 2010.01.01 2010.01.13	AMI JE UM AS AMI AMI JA
--	---	--	---

#### シングル

##### ●プラチナ

BREAK OUT!	東方神起	2010.01.27	AMI
------------	------	------------	-----

##### ●ゴールド

GLORIA BLESS	YUI L'Arc~en~Ciel	2010.01.20 2010.01.27	SR KS
-----------------	----------------------	--------------------------	----------

#### ビデオ

##### ●ゴールド

Thank you My teens	YUI	2007.11.14	SR
--------------------	-----	------------	----

### 洋楽

#### アルバム

##### ●プラチナ

セレブレーション〜マドンナ・オールタイム・ベスト	マドンナ	2009.09.30	WJ
--------------------------	------	------------	----

#### ビデオ

##### ●プラチナ

Number Ones	マイケル・ジャクソン	2004.03.10	SI
-------------	------------	------------	----

※日付は発売日

## 認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上

基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)  
※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AMI:エイベックス・マーケティング/AS:A-Sketch/C:コロムビアミュージックエンタテインメント/DF:デフスターレコーズ/EMI:EMIミュージック・ジャパン/ES:EPICレコードジャパン/FL:フォーライフミュージックエンタテイメント/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテイメント/KS:キューンレコード/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SR:ソニー・ミュージックレコーズ/UM:ユニバーサルミュージック/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン

## 有料音楽配信(「着うた®」他)

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

### 「着うた®」

#### 邦楽

##### ●ミリオン

Butterfly	木村カエラ	2009.06.01	C
-----------	-------	------------	---

##### ●ダブル・プラチナ

じょいふる	いきものがかり	2009.09.08	ES
はつ恋	福山雅治	2009.11.06	UM

### 「着うたフル®」

#### 邦楽

##### ●ミリオン

Butterfly	木村カエラ	2009.06.01	C
-----------	-------	------------	---

##### ●プラチナ

キミに贈る歌	菅原紗由理	2009.04.08	FL
はつ恋	福山雅治	2009.12.04	UM

##### ●ゴールド

Heavenly White	EXILE	2009.12.02	AMI
会いたかった	AKB48	2006.10.25	DF
きっと大丈夫	坂詰美紗子	2009.11.10	AMI
また君に恋してる	坂本冬美	2008.11.12	EMI
会いたい	沢田知可子	2006.03.08	UM
君がいるから	菅原紗由理	2009.12.02	FL
君の知らない物語	supercell	2009.08.12	SR
Bitter Sweet	傳田真央	2009.02.18	UM
ALWAYS	中島美嘉	2010.01.13	AI
キズナ	Hi-Fi CAMP	2008.06.04	FL
You were...	浜崎あゆみ	2009.12.29	AMI

### PC配信(シングル)

#### 邦楽

##### ●ゴールド

キミに贈る歌	菅原紗由理	2009.04.08	FL
ロビンソン	スピッツ	2005.08.31	UM

※日付は配信開始日

## 協会からのお知らせ

当協会マーケティング委員会では、2008年1月より、「STOP! ILLEGAL COPY～違法コピー撲滅～」をキャッチコピーとして、違法コピーの防止を訴え、音楽創造のサイクルを守る大切さを一般ユーザーへ訴求しています。

この度、2010年1月に施行となった改正著作権法第30条の内容を盛り込み、ポスターを刷新しました。

本ポスターは当協会公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.riaj.or.jp/illegal/index.html>



Respect  
our MUSIC



携帯音楽を守りたい

違法な音楽ファイルの利用はやめましょう

<http://www.mamo-on.jp>

THE RECORD No.604 2010年3月号

社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一  
編集人 生野 秀年  
発行日 2010年3月10日  
発行 社団法人 日本レコード協会  
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F  
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

### 編集後記

日本ゴールドディスク大賞とバンクーバーオリンピック、ゴールドが非常に気になる2月でした。バンクーバーオリンピックでの選手の活躍はご存知の通り。毎日一喜一憂、大きな感動と勇気をもらいました。一方で、今年の音楽産業での金メダリストともいえるアーティスト・オブ・ザ・イヤーには「嵐」と「ザ・ビートルズ」が輝きました。どちらもファンに深く愛されているアーティストです。特に「嵐」は史上初の10冠を獲得！ファンと共にこの一年走り続けた「嵐」の皆さん、本当におめでとうございます。

(T)

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト(URL: <http://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せ下さい。